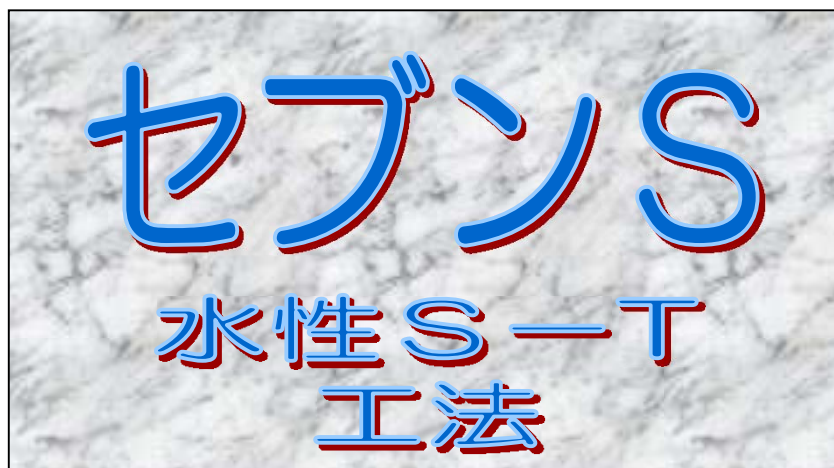


ダム面及び土地の保護と貯水



施工要領書

## 下地処理

### □ 下地ごしらえ

- ① タイルの剥離部、浮き箇所、ひび割れ箇所は、事前に張り替え又は、エポキシ注入・シーリング材充填などの補修をする。
- ② 深目地の場合、目地底入り隅、タイル木口へ刷毛で丁寧に各工程塗り付け十分に造膜をさせる。または、浅目地に埋め戻し、十分に目地モルタルを乾燥後施工して下さい。
- ③ 伸縮目地やその他のシーリング材が劣化し、補修の必要な箇所は、打ち替えを行い、乾燥硬化させる。打ち替え後、十分乾燥養生放置後、セブンスを標準施工する。  
※ 現在、シーリングの打ち替えは、不具合の少ない 2成分形アクリルウレタンをお薦めしております。

(ガラスブロック面などへのご注意)

シリコンシーリングを打ち込まれている場合は、その上に塗装は出来ません。 ガラスブロック面や、目地モルタルへのシリコンシーリングによる汚染を十分にクリーニングし、付着阻害の無いようにしてから塗装して下さい。 セブンスを塗装する場合には、ポリイソブチレン系シーリング材に打ち替え、ご利用下さい。
---

- ④ ポリサルファイドシーリング材、変性シリコンシーリング材の場合、シーリング材の上へは養生し、セブンスを塗らないようにする。やむ得ずシーリング材の上に施工する場合は、次善に策としてしみ止めプライマー、セブンファンデクリヤー I を施工前日までにシーリング材上へ、筆や、刷毛で塗り付けておく。
- ⑤ 入り隅部へは、2成分形アクリルウレタンを三角に打ち、面取りしてから施工すると防水効果が上がります。
- ⑥ シーリング用プライマーやエポキシ注入材が、タイル表面に付着した箇所に経時後見苦しい黄変むらとなるので、表面に残らぬよう処理しておく。
- ⑦ ワックスや油脂などがタイル面に付着している場合は、洗剤を使用し、十分水洗いを行うか、研磨紙ずり及び、シンナー拭き等により、除去する。
- ⑧ 目地部、ひび割れ部などからの白華物(エフロレッセンス)は、硬質ブラシやスクレーパー、ヘラなどで、できるだけ除去し、弱酸性液(希塩酸、しゅう酸等)で洗浄除去後、水洗乾燥する。尚、酸で目地モルタル、タイル裏面モルタル、及びその他のセメントモルタル、コンクリート面の劣化、強度低下を生じさせないよう、水洗いを充分行うなどして注意して施工する。
- ⑨ かびや藻などの微生物汚染を生じている場合は、カビ取り材、アルコール液で殺菌処理する。
- ⑩ 塵埃や付着物などの汚染物は、セブンデオ等を用い、汚れを除去した後、十分に高圧水洗浄する。
- ⑪ 水洗後のタイル面を十分乾燥する。

## セブンS (S-T工法) の施工

□ セブンS (S-T工法) の塗り工程

〔主材塗付方法〕

- ① 細目砂骨ローラー塗り ② ウールローラー塗り

工 程	使用材料	希 釈 (重量%)	塗付け量 (Kg/m <sup>2</sup> )	工程時間 (時間)	施 工 方 法
1 下塗り(1~2回)	水性セブンSシーラー	水 (0~10)	0.13 ~0.15	3以上 24以内	中毛ウールローラー
2 主材塗り(1)	セブンS	水 (0~3)	0.4 ~0.7	3以上 168以内	細目砂骨ローラー
3 主材塗り(2)	セブンS	水 (0~3)	0.2 ~0.3	16以上 168以内	中毛ウールローラー
4 上塗り (半艶、艶有)	水性セブンストップ	水 (0~10)	0.12 ~0.15	2以上 8以内	中毛ウールローラー
5 上塗り (半艶、艶有)	水性セブンストップ	水 (0~10)	0.12 ~0.15	24以上 (最終養生)	中毛ウールローラー

◎斜壁部への主材塗りは、1kg/m<sup>2</sup>を基準にして下さい。

- ☆ 陶器質や無釉薬タイルの場合、セブンSシーラーは乾燥後2回目を追いかけて塗りして下さい。
  - ☆ セブンSシーラー塗布後、目地モルタルの吸い込みの大きい部分は、乾燥後、再度増し塗りし、目地モルタルを均一に濡れ色にして下さい。
  - ☆ セブンS主材塗り2回で最低0.6kg/m<sup>2</sup>塗り切れない場合、塗りきるまで重ね塗りして下さい。
  - ☆ タイルが接地面から張られている場合、接地面から10cm程、塗装は避けて下さい。
  - ☆ 花壇や擁壁など裏面からの湿気供給が予想される部分への塗装は避けて下さい。
  - ☆ セブンS塗装では、塗装しない取り合い側からの浸水による不具合無きようにして下さい。  
(養生テープにカッターなどを当て剥がす。)
  - ☆ 笠木部平場、天端などへはウレタン防水又は、セブンウォールなどで防水処置して下さい。
- 施工後、塗膜が乾燥してから養生テープを剥がす場合、カッターなどを当て、養生テープで塗膜を剥がさないように気をつける。

- 1) 下地の状態により、塗付け量に差異を生じることがあります。  
水性セブンSシーラー塗布後、目地モルタルの吸い込みの大きい部分は、乾燥後、再度増し塗りし、目地モルタルを均一に濡れ色にして下さい。
- 2) セブンS主材塗りは、ローラーの運びをゆっくり配り塗りすると、気泡を含みづらくなります。一度に腕を伸ばし塗装すると、造膜不足になり、気泡が入り、白ぼけを発生し易くなります。
- 3) 予めセブンS主材の仕上方向を打ち合わせて下さい。
- 4) 水性セブンSシーラー、水性セブンストップは、二液型です。硬化剤の入れ忘れに注意して下さい。  
又、塗装直後は乾燥しても当日に大量の降雨が当たると戻る場合があります。
- 5) タイル面が手触で暑い場合、セブンS主材塗付時の乾きが早くなり、不具合を発生し易くなりますので、注意して下さい。
  - ・セブンS主材に水道水3% (300~400cc) 程を加え、混練棒にて気泡が入らぬように攪拌し、塗膜の表面乾燥を遅らせる。
  - ・セブンS主材を狭い面積づつ塗り継ぎ、主材の糸引き、ローラー運びが重くなったら、塗りを止め、乾燥硬化後に塗り増しして下さい。
  - ・セブンS主材表面が皮張り、糸引きが始まってから、ローラーを運ぶと、塗膜表面を荒らし、気泡混入させ、仕上面を悪くし、白ボケの要因となります。

## セブンS (S-T工法) 主材塗り1回目細目砂骨ローラー仕上げの施工要領

### ●はじめに

セブンSシリーズは、透明仕上げの為、汚れたローラー、ハンドル等の道具は使用しないこと。

### 1) 下塗り

- ① 下地調整が十分行われていることを確認後、下塗り工程を行う。
- ② 水性セブンSシーラーは、基剤/硬化剤を 10/1 (重量比)とし水道水で0~10%(重量比)希釈でハンドミキサー等で均一に混合する。
- ③ 中毛ウールローラー又は、スプレーにより、塗り残し、塗り継ぎの生じないよう均一に所定量塗り付ける。(下地、タイルの状態により塗布量が異なる場合があります。)

### 2) 主材塗り [1回目細目砂骨ローラー塗り]

- ① 下塗りの乾燥後(3時間以上)、主材塗りする。 ※指触で確認する。
- ② セブンSを0~3%水希釈し、均一に混合する。混合方法は、気泡が混入しないように練棒等で静かに攪拌する。  
※通常の高速ハンドミキサーは、使用できません。
- ③ 細目砂骨ローラーにセブンSをたっぷり含ませ、気泡が混入しないように、配り塗り、仕上げ塗りし、均一に仕上げる。(予め砂骨模様の方向を打ち合わせて下さい。)  
一度に腕を伸ばし、塗装すると造膜不足になり、気泡が入り易くなります。
- ④ セブンS 1回塗り面の乾燥硬化(通常3時間以上)後、透明になってから、2回目のセブンSを中毛ウールローラーを用いて、1回目同様に2回目を仕上げる。

### 3) 上塗り

- ① 主材セブンSの乾燥硬化を確認後、上塗り工程を行う。
- ② 水性セブンSトップは、基剤/硬化剤を10/1(重量比)とし、水道水で0~10%希釈し、主剤、硬化剤を必ず全量混入し、ハンドミキサー等を使用して均一に混合する。上塗材の半艶は、艶消材が分離状態になっている場合もありますので、缶の底部まで充分混合するよう特に注意して下さい。  
上記の理由から、石油缶より少量の使用は行わないで下さい。少量使用の場合は、4Kgセットをご利用ください。
- ③ 中毛ウールローラーにより、塗り残し、塗り継ぎの生じないよう均一に塗り付ける。  
なお、主材塗りも含めて、透明仕上げのため、塗り残し、塗りむらのないよう十分注意が必要である。
- ④ 水性セブンSトップ 1回塗り面の乾燥後(通常3時間以上)、2回目の水性セブンSトップを中毛ウールローラーを用いて、1回目同様、2回目を仕上げる。
- ⑤ 上塗材の半艶は、艶消し材が沈降していることがありますので、ハンドミキサーで十分攪拌し、塗棒等で缶のコーナー部の溜まりも良く混合して下さい。
- ⑥ 仕上げ面は、十分乾燥硬化させるよう、24時間以上乾燥養生する。
- ⑦ セブンS主材層は、透明な塗膜なので、上塗りを塗るとき、塗り残しが発生しやすいので、2回塗りをして下さい。

□ セブンS (S-T工法) の塗り工程  
〔中毛ウールローラー仕上げ〕

工 程	使用材料	希 釈 (重量%)	塗付け量 (Kg/m <sup>2</sup> )	工程時間 (時間)	施 工 方 法
1 下塗り(1~2回)	水性セブンSシーラー	水 (0~10)	0.13 ~0.15	3以上 24以内	中毛ウールローラー 又は 吹付け
2 主材塗り(1)	セブンS	水 (0~3)	0.3 ~0.5	3以上 168以内	中毛ウールローラー
3 主材塗り(2)	セブンS	水 (0~3)	0.3 ~0.5	16以上 168以内	中毛ウールローラー
4 上塗り (半艶、艶有)	水性セブンストップ	水 (0~10)	0.12 ~0.15	2以上 8以内	中毛ウールローラー 又は 吹付け
5 上塗り (半艶、艶有)	水性セブンストップ	水 (0~10)	0.12 ~0.15	24以上 (最終養生)	中毛ウールローラー 又は 吹付け

◎斜壁部への主材塗りは、1kg/m<sup>2</sup>を基準にして下さい。

- ☆ 陶器質や無釉薬タイルの場合、セブンSシーラーは乾燥後2回目を追いかけて塗りして下さい。
  - ☆ セブンSシーラー塗布後、目地モルタルの吸い込みの大きい部分は、乾燥後、再度増し塗りし、目地モルタルを均一に濡れ色にして下さい。
  - ☆ セブンS主材塗り2回で最低0.6kg/m<sup>2</sup>塗り切れない場合、塗りきるまで重ね塗りして下さい。
  - ☆ タイルが接地面から張られている場合、接地面から10cm程、塗装は避けて下さい。
  - ☆ 花壇や擁壁など裏面からの湿気供給が予想される部分への塗装は避けて下さい。
  - ☆ セブンS塗装では、塗装しない取り合い側からの浸水による不具合無きようにして下さい。  
(養生テープにカッターなどを当て剥がす。)
  - ☆ 笠木部平場、天端などへはウレタン防水又は、セブンウォールなどで防水処置して下さい。  
仕上り面の養生を剥がす時は、予め、カッターを入れ、塗装面を見切して下さい。
- 1) 下地の状態により、塗付け量に差異を生じることがあります。  
水性セブンSシーラー塗布後、目地モルタルの吸い込みの大きい部分は、乾燥後、再度増し塗りし、目地モルタルを均一に濡れ色にして下さい。
  - 2) セブンS主材塗りは、ローラーの運びをゆっくり配り塗りすると、気泡を含みづらくなります。一度に腕を伸ばし塗装すると、造膜不足になり、気泡が入り、白ぼけを発生し易くなります。
  - 3) 予めセブンS主材の仕上方向を打ち合わせて下さい。
  - 4) 水性セブンSシーラー、水性セブンストップは、二液型です。硬化剤の入れ忘れに注意して下さい。  
又、塗装直後は乾燥しても当日に大量の降雨が当たると戻る場合があります。
  - 5) タイル面が手触で暑い場合。セブンS主材塗付時の乾きが早くなり、不具合を発生し易くなりますので、注意して下さい。
    - ・セブンS主材に水道水3% (300~400cc) 程を加え、混練棒にて気泡が入らぬように攪拌し、塗膜の表面乾燥を遅らせる。
    - ・セブンS主材を狭い面積づつ塗り継ぎ、主材の糸引き、ローラー運びが重くなったら、塗りを止め、乾燥硬化後に塗り増しして下さい。
    - ・セブンS主材表面が皮張り、糸引きが始まってから、ローラーを運ぶと、塗膜表面を荒らし、気泡混入させ、仕上面を悪くし、白ボケの要因となります。

## セブンス（S-T工法）中毛ウールローラー仕上げの施工要領

### ●はじめに

セブンスシリーズは、透明仕上げの為、汚れたローラー、ハンドル等の道具は使用しないこと。  
養生を剥がす時は、予めカッターを入れ、塗装面を見切ってください。

### 1) 下塗り

- ① 下地調整が十分行われていることを確認後、下塗り工程を行う。
- ② 水性セブンスシーラーは、基剤／硬化剤を 10／1（重量比）とし0～10%水希釈し、ハンドミキサー等で均一に混合する。
- ③ 中毛ウールローラー又は、スプレー塗りにより、塗り残し、塗り継ぎの生じないよう均一に所定量塗り付ける。（下地、タイルの状態により塗布量が異なる場合があります。）

### 2) 主材塗り〔中毛ウールローラー塗り〕

- ① 下塗りの乾燥後(3時間以上)、主材塗りする。 ※指触で確認する。
- ② セブンスを0～3%水希釈し、均一に混合する。混合方法は、気泡が混入しないように練棒等で静かに攪拌する。  
※通常の高速ハンドミキサーは、使用できません。
- ③ 中毛ウールローラーにセブンスをたっぷり含ませ、気泡が混入しないように、配り塗り、仕上げ塗りし、均一に仕上げる。（予め仕上方向を打ち合わせて下さい。）  
新しいローラーを使用する場合は、あらかじめ水でよくなじませ、気泡を混入しないよう均一塗りを行う。
- ④ セブンス 1回塗り面の乾燥硬化(通常3時間以上)後、透明になってから、2回目のセブンスを中毛ウールローラーを用いて、1回目同様に2回目を仕上げる。

### 3) 上塗り

- ① 主材セブンスの乾燥硬化を確認後、上塗り工程を行う。
- ② 水性セブンストップは、基剤／硬化剤を10／1(重量比)とし、基剤を0～10%水希釈し、硬化剤を混入し、ハンドミキサー等を使用して均一に混合する。上塗材の半艶は、艶消材が分離状態になっている場合もありますので、缶の底部まで充分混合するよう特に注意して下さい。  
上記の理由から、石油缶より少量の使用は行わないで下さい。少量使用の場合は、4Kgセットをご利用ください。
- ③ 中毛ウールローラーにより、塗り残し、塗り継ぎの生じないよう均一に塗り付ける。  
なお、主材塗りも含めて、透明仕上げのため、塗り残し、塗りむらのないよう、十分注意が必要である。
- ④ 水性セブンストップ 1回塗り面の乾燥後(通常3時間以上)、2回目の水性セブンストップを中毛ウールローラーを用いて、1回目同様、2回目を仕上げる。
- ⑤ 上塗材の半艶は、艶消し材が沈降していることがありますので、ハンドミキサーで十分攪拌し、塗棒等で缶のコーナー部の溜まりも良く混合して下さい。
- ⑥ 仕上げ面は、充分乾燥硬化させるよう、24時間以上乾燥養生する。
- ⑦ セブンス主材層は、透明な塗膜なので、上塗りを塗るとき、塗り残しが発生しやすいので、2回塗りをして下さい。

□ セブンS (S-T工法)エアレス吹き工程仕様書

工 程	使用材料	希釈 (重量%)	塗付け量 (Kg/m <sup>2</sup> )	工程時間 (時間)	施 工 方 法
1 下塗り(1~2回)	水性セブンSシーラー	水 (0~10)	0.15 ~0.2	3以上 24以内	エアレス吹付け
2 主材塗り(1)	セブンS	水 (0~7)	0.2 ~0.35	3以上 168以内	エアレス吹付け
3 主材塗り(2)	セブンS	水 (0~7)	0.2 ~0.35	3以上 168以内	エアレス吹付け
4 主材塗り(2)	セブンS	水 (0~7)	0.2 ~0.35	16以上 168以内	エアレス吹付け
5 上塗り (半艶、艶有)	水性セブンストップ	水 (0~10)	0.1 ~0.15	2以上 8以内	エアレス吹付け
6 上塗り (半艶、艶有)	水性セブンストップ	水 (0~10)	0.12 ~0.15	24以上 (最終養生)	エアレス吹付け

◎斜壁部分への主材塗りは、1kg/m<sup>2</sup>を基準にして下さい。

- ☆ 陶器質や無釉薬タイルの場合、セブンSシーラーは乾燥後2回目を追いかけ塗して下さい。
  - ☆ セブンSシーラー塗布後、目地モルタルの吸い込みの大きい部分は、乾燥後、再度増し塗りし、目地モルタルを均一に濡れ色にして下さい。
  - ☆ セブンS主材塗り2回で最低0.6kg/m<sup>2</sup>塗り切れない場合、塗りきるまで重ね塗りして下さい。
  - ☆ タイルが接地面から張られている場合、接地面から10cm程、塗装は避けて下さい。
  - ☆ 花壇や擁壁など裏面からの湿気供給が予想される部分への塗装は避けて下さい。
  - ☆ セブンS塗装では、塗装しない取り合い側からの浸水による不具合無きようにして下さい。  
(養生テープにカッターなどを当て剥がす。)
  - ☆ 笠木部平場、天端などへはウレタン防水又は、セブンウォールなどで防水処置して下さい。
- 1) 下地の状態により、塗付け量に差異を生じることがあります。  
セブンSシーラー塗布後、目地モルタルの吸い込みの大きい部分は、乾燥後、再度増し塗りし、目地モルタルを均一に濡れ色にして下さい。
  - 2) タイル面が手触で暑い場合。セブンS主材塗布時の乾きが早くなり、発泡し、白ボケることがあります。
  - 3) 出来るだけ、縦目地、横目地を直線状に見切り、吹付けて下さい。又、飛散が大きくならぬよう、手元圧力、主材吹出量を調整して下さい。
  - 4) セブンストップM#30は、セブンS主材吹付翌日以降に、当日2回塗りです。塗り面積の広い場合は、面等で見切り、当日必ず2回塗り仕上げして下さい。

## セブンス (S-T工法) エアレス吹付け仕上げの施工要領

(本体の圧力を加減し、飛散が少なく、塗着効率よく吹付けて下さい。)

### 1) 下塗り

- ① 下地調整が十分行われていることを確認後、下塗り工程を行う。
- ② 水性セブンスシーラーは、基剤/硬化剤を 13/1 (重量比)とし、水道水で0~10% (重量比)希釈しハンドミキサー等で均一に混合する。(チップ0.018インチ口径)
- ③ エアレススプレー塗りにより、塗り残し、塗り継ぎの生じないよう均一に所定量塗り付ける。(ローラー塗りと同じ。)

### 2) 主材塗り [エアレススプレー吹付け塗り]

- ① 下塗りの乾燥後(3時間以上)、セブンス塗りする。
- ② セブンスを0~7%水希釈し、均一に混合する。混合方法は、気泡が混入しないように練棒等で静かに攪拌する。
- ③ エアレススプレーを用いてムラなく均一に吹付ける。(チップ0.026インチ口径)
- ④ セブンス 1回塗り面の乾燥硬化(通常2時間以上)後、2回目のセブンスを1回目同様に吹付ける。
- ⑤ セブンス2回塗り面の乾燥硬化(通常2時間以上)後、3回目のセブンスを2回目同様に吹付ける。

### 3) 上塗り

- ① 主材セブンスの乾燥硬化を確認後、上塗り工程を行う。
- ② 水性セブンスストップは、基剤/硬化剤を13/1(重量比)とし、水道水で0~10%希釈し、主剤、硬化剤を必ず全量混入し、ハンドミキサー等を使用して均一に混合する。上塗材の半艶は、艶消材が分離状態になっている場合もありますので、缶の底部まで充分混合するよう特に注意して下さい。  
上記の理由から、石油缶より少量の使用は行わないで下さい。少量使用の場合は、4Kgセットをご利用ください。
- ③ エアレススプレー塗りにより、塗り残し、塗り継ぎの生じないよう均一に塗り付ける。  
(チップ0.026インチ口径)  
なお、主材塗りも含めて、透明仕上げのため、塗り残し、塗りむらのないよう、十分注意が必要です。
- ④ 水性セブンスストップ 1回塗り面の乾燥後(通常2時間以上)、2回目の水性セブンスストップをエアレススプレーを用いて、1回目同様、2回目を仕上げる。
- ⑤ 上塗材の半艶は、艶消し材が沈降していることがありますので、ハンドミキサーで十分攪拌し、塗棒、ヘラ等で缶のコーナー部の溜まりもキレイに落とし、良く混合して下さい。
- ⑥ 仕上げ面は、十分乾燥硬化させるよう、24時間以上乾燥養生する。
- ⑦ セブンス主材層は、透明な塗膜なので、上塗りを塗るとき、塗り残しが発生しやすいので、2回塗りをして下さい。



## 施工全般における注意事項

セブンスを斜壁面や手摺天平端面などに施工した場合、垂直面と比べ、陽射しの当たる角度からタイル表面温度の高低差が大きく、平場面のように降雨の滞留時間も長く、塵埃なども堆積し易く不具合進行が速いことから、毎年1度の点検と、不具合部分の補修、更に、5～7年程度でのトップコート塗り増しをご提案いたします。

- A) 躯体(素地)に、外観上の欠陥があれば、施工を禁じ欠陥処理を行う。
- B) 気温変動での注意  
低温(5℃以下)の場合、樹脂の反応硬化に支障をきたす場合があるため施工中止して下さい。  
高温(気温35℃以上、躯体温度30℃以上)、及び湿度85%RH以上の場合、塗膜乾燥、ローラー作業性に支障をきたす場合がありますので十分注意してください。
- C) 降雨・降雪の恐れがあるときは、施工を避ける。  
水性セブンスシーラー及び、水性セブンスストップ施工後一度透明になっても、降雨が当たると給水し、塗膜の白濁、透明乾燥を繰り返す場合があります。冬場から春先に掛け、降雨の心配な場合には、予め、軒養生などでして頂くことをお勧めします。
- D) 風速5m/sec以上のときは、塗材の飛散公害・塗付けムラ等の支障をきたすので、施工に十分注意する。
- E) 材料の保管は、風雨・直射日光を避け、必ず冷暗所で保管する。
- F) 塗付け途中、又は乾燥途中に急に雨が降ってきたときは、少なくとも塗膜が乾燥するまで、天幕などで覆って流出しないようにする。
- G) セブンスの保管は、5℃以上の場所で保管する。
- H) タイル目地をダイレクトシールやシーリング材等で補修してある場合は、目地の色が不均一となるので、あらかじめ管理者に了解を得る事。
- I) 水性セブンスシーラーを塗装すると目地が黒くなるので、あらかじめ発注者に承認を受けるようにする。(目地の濡れ色)  
又、濃い部分と白い部分がむらに仕上がった場合は、目地の劣化が進行している場合が多いので、水性セブンスシーラーを再度塗装する。
- J) セブンス(主材)に清水を入れ攪拌する場合は、ハンドミキサー等は使えません。高速回転の機械を使用すると、気泡が混入して抜けませんので、必ず攪拌棒で静かに攪拌する。
- K) タイル目地や、タイルにひび割れが発生している場合は、セブンスシーラー塗装後、セブンス(主材)をひび割れ部に、ハケ又は、ゴムべら等で増塗りを行い、乾燥後ローラー又は、吹付け作業を行う。
- L) 各工程の塗材塗装後すぐに塗面を養生シート等で密閉すると、養生シートと塗膜が接着し剥がれなくなることがあるので、養生シート等で密閉しないように注意する。(逆養生が不要となる手順を考える。)
- M) 材料の取扱いの際は、MSDSを確認してください。
- N) 居室等、内装で使う場合、塗料扱い時、塗装時には換気・通気に十分注意してください。

## 使用材料一覧表

□ 荷 姿

製 品 名	容 量	荷 姿	備 考
水性セブンSシーラー	11Kgセット	石油缶	基剤/硬化剤 10:1 10kg / 1kg
	3.3Kgセット	石油缶	基剤/硬化剤 3kg/0.3kg
セブンS	14Kg 4Kg	石油缶	水性 1液
水性セブンSトップ 艶有・半艶	11Kgセット	石油缶	基剤/硬化剤 10:1 10kg / 1kg
	3.3Kgセット	石油缶	基剤/硬化剤 3kg/0.3kg
セブンデオ	4L	ポリ容器	アルカリ性洗剤
セブンファンデクリヤー I	1kg	石油缶	滲み止めプライマー
セブンデオ	4L	ポリ缶	洗剤

 **株式会社 セブンケミカル**

東京都新宿区西新宿7-17-14(源共同ビル)

TEL 03(3366)2616 FAX 03(3366)2619

e-mail kuroyanagi@seven-chemical.co.jp

e-mail hukuda@seven-chemical.co.jp